

平成 28 年度の各種調査業務について

平成 28 年度の各種調査業務について、進捗状況等をご報告いたします。

1 完了した調査業務

① 交通量調査

- ・平成 28 年 5 月 3 日(火・祝)および 5 月 24 日(火)に松原周辺の交差点 12 箇所で交通量調査等を実施しました。
- ・平日は、朝の通勤時間帯の松原橋交差点南行きに、休日では 15 時から 17 時頃の複数交差点で渋滞が発生していました。
- ・総合運動場の来場者自動車利用率は平日で 54%、休日で 97%でした。
- ・現在は、公園整備後の交通量の予測等を行っています。

② 縦横断測量

- ・平成 28 年 2 月から同年 5 月にかけて、現地を測量しました。
- ・測量したデータを取りまとめ、平成 28 年 6 月末に業務を完了しました。
- ・公園整備の基本設計および実施設計の元となる縦断図や横断図を作成しました。

③ 土質調査

- ・平成 27 年 12 月および平成 28 年 5 月に、現地にてボーリング機械で孔（あな）を掘り、地盤のデータを調査しました。
- ・調査したデータを取りまとめ、平成 28 年 6 月末に業務を完了しました。
- ・公園整備の基本設計、実施設計および建築実施設計の元となる地盤のデータを得ました。

※調査期間中は、皆様にご迷惑をおかけいたしました。皆様のご協力により、無事、各業務を完了いたしました。

2 実施中の調査業務

用地測量

- ・事業用地を確定するため、現地測量や境界確認により土地の境界等を調査します。
- ・5/14、5/15 に境界確認を行い、現在は確認した結果を基に整理中です。
- ・今後の予定は、土地の境界を整理し、図面を作成のうえ、地権者を対象とした説明会を開催するとともに、不動産鑑定評価を行い、今年度後半に用地の提供について協議させていただく予定です。

3 新たに実施する調査業務

地形測量

- ・平成 28 年 7 月中旬に委託業者と契約しました。

- ・公園整備の実施設計の元となる、実測の地形図（1/500）を作成します。
- ・地形図は、地形（土地の起伏）や地物（人工構造物、自然物）を表すため、これにかかる測量を実施します。
- ・調査にあたり、関係地権者の方々に依頼文書を送付し、お持ちの敷地内への立入りをお願いします。また、住民の皆様にチラシを配布するなど作業内容を事前に周知します。

4 各種調査の実施にあたって

- ・各業務とも作業員は、滋賀県が発行する身分証明書を携帯するとともに、腕章を着用のうえ、身分を明らかにしたうえで作業を実施します。

ちょこっとワークショップ体験「彦根の魅力」

公園について考える前に、ちょこっとワークショップ体験として、「彦根の魅力」についてみなさんにお聞きしました。たくさんの彦根の魅力を考えてもらいました。

■歴史

- ・歴史の町、歴史がある。(3)
- ・幕末の歴史
- ・国宝彦根城(4)
- ・彦根城などの建築、歴史
- ・彦根城を中心とした、昔ながらの町並み
- ・佐和山城跡



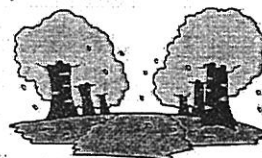
■びわ湖

- ・びわ湖(5)
- ・びわ湖のイベントや風景
- ・湖側に夕日、山側に朝日が見える
- ・水鳥
- ・島



■自然

- ・四季にめぐまれた地域、気候が豊か。
- ・とても四季を感じやすい。
- ・サクラ(2 芹川など)
- ・自然が素晴らしい。春は桜、秋は紅葉、夏は緑葉(1)
- ・自然が多い。(みどりが多い)
- ・程よい田舎
- ・農村
- ・夜が涼しい



■スポーツ

- ・観光とスポーツが組み合わせられる可能性がある。
- ・スポーツ施設が併設されている。
- ・スポーツのまち

■住みやすい、まちが良い

- ・近畿と東海の間にある
- ・程よく施設がある(栄えている)
- ・まちの空気感が良い
- ・住みやすい(3)
- ・町並み
- ・銀座商店街
- ・災害が少ない



■交通

- ・交通の拠点
- ・交通の便が良い。新幹線が近い。高速道路が近い。JR駅が近い。

■人

- ・人が良い
- ・真面目な人が多い
- ・子どもが多い



■大学

- ・大学が多い(2)
- ・学生が多い(2)

■名物

- ・カロム
- ・ひこにゃん(3)
- ・花火
- ・ラーメン
- ・鮎
- ・ひこね丼



※ () 内は同様の意見の数

参加者の感想 (抜粋)

- ・楽しかった。夢があってよい。汗をかいて良いものをつくりたい。
- ・多数の意見が出て、今後の参考になると思う。
- ・みんなで楽しくお話ができて良かった。公園スペースが思っていたより小さかった。
- ・利用されている方がもっと多いと良いかな。
- ・「彦根らしさ」のあるものをつくってほしいように。
- ・若い方の幅広い意見が聞けて有意義でした。
- ・他分野の方々とお話できて良かったです。
- ・実際に現在利用されている方々の声は「なるほど!」と感じました。
- ・意見をしっかりと反映してもらいたい。市民、県民の意見の場として重要視してください。

ワークショップに関するお問い合わせ先 滋賀県 県民生活部 スポーツ課 担当：大橋・長坂・北川
住所：〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号
TEL：077-528-3363 Fax：077-528-4832
E-mail：kokutai@pref.shiga.lg.jp

(仮称)彦根総合運動公園整備事業

みんなで考える公園づくり

ワークショップ

ニュース 1

7月を迎え、木々の緑もより深くなりました。

平成 28 年 7 月 滋賀県

滋賀県では平成 36 年に開催される第 79 回国民体育大会と第 24 回全国障害者スポーツ大会のメイン会場となる「(仮称)彦根総合運動公園」の整備計画づくりに取り組んでいます。

より良い公園づくりに向けて、みなさまのアイデア、ご意見をお聞かせいただき、全 3 回の予定でワークショップを開催しています。

6月18日に、第1回ワークショップを開催し、公園整備の再整備に向けた基本計画を説明した後、新しい公園の使い方について参加者のみなさまで考えました。



●ワークショップとは
みんなでワイワイと
アイデアや意見を出
し合い、より良い公園
づくりを考えます。

ワークショップの様子と内容をニュースにまとめました！



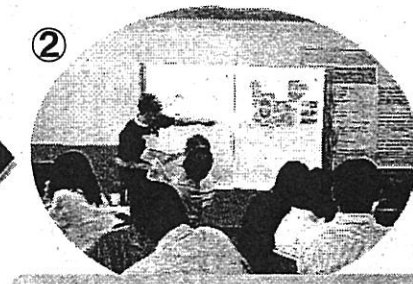
どんな公園に
なったら
いいかな？

第1回ワークショップの様子

日時：6月18日(土) 10:00~12:00
場所：県立彦根総合運動場内 スイミングセンター大会議室



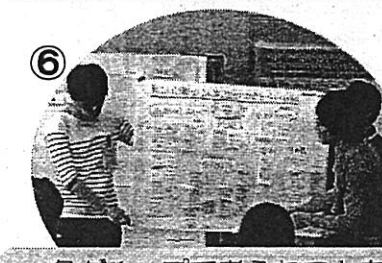
17名の参加がありました



再整備に向けた基本計画の
説明がありました



ワークショップ体験として
彦根の魅力を考えてみました



各グループで考えたことを
発表し全体で共有しました



グループに分かれて新しい公園
の使い方について考えました



自己紹介をしました

ワークショップの予定



第1回
「新しい公園でこんなことができればいいな」
6月18日(土)

次

第2回
「イメージをふくらませよう」
7月23日(土)

第3回
「こんな公園づくりをめざそう!」
8月27日(土)

気になる結果は次ページから!

新しい公園で

こんなことが できたらいいな

スポーツを楽しむ

- バドミントン、グラウンドゴルフ、フットサルなど、いろいろなスポーツをする。
- スポーツ施設を充実する。また、芝生や土など平らな自由に使えるグラウンドをつくる。
→芝生は養生期間は使えないなど、利用頻度が下がるため人工芝や土が良い。
- 競技場を一般利用する。
- ナイター設備を設置し、夜もスポーツをする。

スポーツ好きの
県民のポテン
シャルアップ

幼児、子ども、大人
の使い分けも必要

災害時の避難地となる

- 災害時の避難場所として使える。(防災ベンチやあずまや、屋内避難施設など災害時に使用できる機能がある)

アクセスを良くする

- 彦根城からのアクセス道路が不便。改善が必要。

まわりの水位が
高くなると心配

日常的に楽しむ

- いろいろな人がさまざまに楽しむ。
- 休日を公園で過ごす。 ヨーロッパ的に
- 芝生広場でピクニックをする。
- バーベキューをする。
- おにぎりを食べる。
- 部活帰りにくつろぐ。 学生が立ち寄る
- 水遊びをする。
- ボール遊びをする。
- 緑の広場で遊具で遊ぶ。(遊具を充実する)
- 散歩やウォーキングをする。(園路を楽しくして、距離表示をつける)
- 国体終了後は市民が安く使える競技場にする。
- 公園は囲わないでオープンにする。

イベントを開催する

- 出店やマルシェ、大規模な朝市などを開催する。
- お城まつりとゆかたまつりを一緒に開催する。
- 親子向けのイベントをする。
- 広場で小学校区のイベントをする。
- 花火観覧席を設けて、花火を見る。
- 運動以外の公園らしいイベントをする。
- サッカーなどのスポーツ教室をする。
- 彦根市民の体育祭や学生+市民の運動会を開催する。(いろんな世代でいっしょに！地域の力、仲間意識を向上する)
- 防災訓練をする。

市外の人にも使ってもらおう

- 公園を観光ルートに含み、観光客も彦根市民も楽しめるようにする。
- 水辺周遊コースの一部にする。
- 琵琶湖サイクリングロードに取り込む。(公園で休憩する)
- 日本遺産に「琵琶湖とその水辺景観」が認定されている。水辺景観は売りになる。(昔の堀をイメージして整備する)
- ひこにゃん。城などの資産を活かす。
- リピーターをつくる。
- 世界一の目玉となるものをつくる。

宿泊する

- 宿泊施設をつくって、合宿、マリンスポーツの拠点に。(今は長浜ドームに取られている)鳥人間コンテストで来る人も使える。
- 温泉を掘る。足湯をつくる。
- いろいろな人が集まれる場所をつくる。(集会施設、会議室)

彦根城・金亀公園と一体で広々と

- 彦根城、金亀公園と一体的にする。(公園的なところを広くする)
- 公園内の各エリアが分断されないようにする。
- 駐車場を地下にすれば、広々と使えて、景観的にも良いのでは。

彦根城と
セットで利用

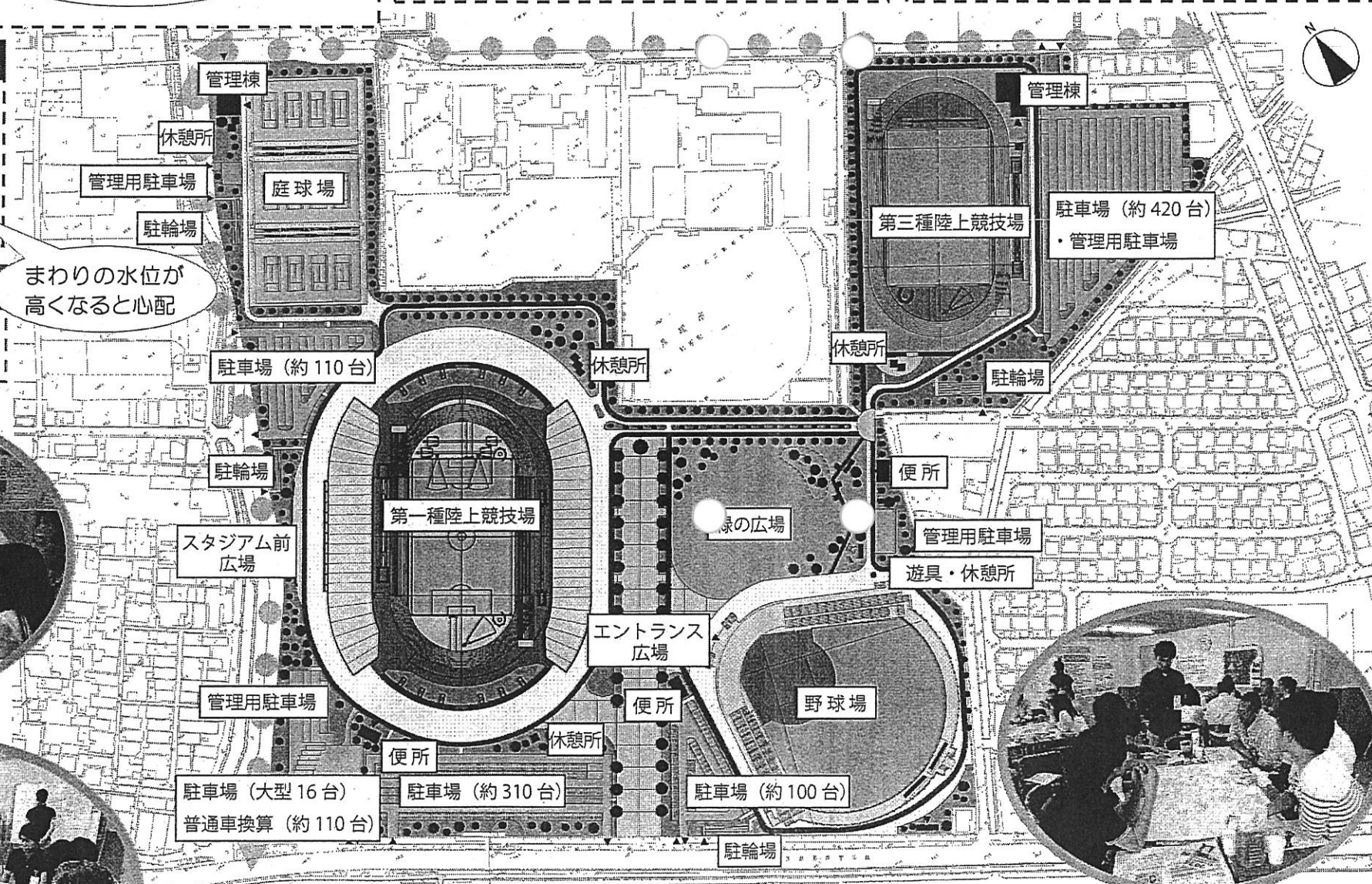
四季、自然を感じる

- サクラ、モミジで四季を感じる。
- 藤棚で休む。
- 木々に囲まれた休憩所
- 木陰でひと休みする。
- 緑の湖になるようにする。
- 芝生の場所をつくる。
- 彦根城、伊吹山の雪化粧がキレイ。活かせないか。

彦根はサクラ！

彦根らしい良い景観にする

- 建物は彦根城などとの調和を考える。(和と洋の融合、木材等自然素材の利用など)
- エントランス広場には高木を複数列植える。(お城への軸を合わせる)
- アスファルトはあまり使わないでほしい。



1 班の検討の様子



3 班の検討の様子



2 班の検討の様子

(仮称) 彦根総合運動公園
基本計画図

金亀公園